

AIと描く 2050年の仙台

－みんなでつくる、私たちの未来－

AIシミュレーションから考える 未来の仙台ワークショップ

AIによる未来シミュレーションの結果をもとに、これからの仙台のまちの姿について、市民のみなさまと一緒に考えるワークショップです。
世代や立場をこえ、アイデアを出しあい、2050年の未来を、ともに描きましょう。

日時

令和8年12月6日(日)
13:30 ～ 16:30

会場

せんだいメディアテーク
7階会議室a・b



〒980-0821
仙台市青葉区春日町2-1

定員

30名程度

※申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。

対象

仙台市の未来やまちづくりに関心のある方

※参加費は無料です

申込方法

右の二次元コードからお申し込みください。

申込締切　令和8年11月29日(日)

※記入いただいた個人情報は、本イベントに関する目的にのみ使用し、他の目的には使用しません。
※お電話でのお申し込みをご希望の場合は、下記政策企画課の電話番号までご連絡ください。

こんな方におすすめ！

- 仙台の未来に関心がある
- AIや未来予測に興味がある
- 市政やまちづくりに参加してみたい
- 様々な方々と意見交換してみたい

主催　仙台市まちづくり政策局政策企画課
022-214-1245
〒980-8671　仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
Eメール ： mac001620@city.sendai.jp

AIシミュレーションとは？　ワークショップでは何をするの？

仙台市では、今後の政策検討に活用するため、株式会社日立製作所と連携し、AIを活用して2050年の仙台のまちをえがくシミュレーションを実施しています。

人口、産業、観光、医療・福祉、環境などのさまざまなデータをもとに約2万通りのシミュレーションを行ったところ、7つの未来シナリオ（仙台のまちのすがた）ができました。

その中から、望ましい未来シナリオに到達するためには、3つのターニングポイントが存在することが分かりました。

ワークショップでは、望ましい未来に向けて、それぞれのターニングポイントにおいて、どのような取り組みが必要か、参加者のみなさまと一緒に考えます。

みんなで考える「未来の3つのターニングポイント」

※イベント当日の内容は現時点の予定であり、今後変更となる場合があります。



ターニングポイント① 2030年
まちの基礎体力をどう高める？

ターニングポイント② 2043年
暮らしの土台をどう整える？

ターニングポイント③ 2045年
交流人口や観光をどう伸ばす？

色んなテーマで考えよう（議論の視点）

- **健康福祉**：健康寿命を延ばすには？
- **子育て教育**：こどもが安心して育つまちとは？
- **産業雇用**：働きがいのあるまちにするには？
- **観光交流**：もっと人が集まるまちにするには？
- **環境防災**：持続可能で安全なまちとは？
- **都市づくり**：魅力ある都心をどう実現する？

プログラム

前半　AIシミュレーション結果の紹介など

概要や分析手法を紹介するとともに、AIが描いた「2050年の仙台」の未来シナリオや、その未来を左右する重要なターニングポイントについて、イラストを交えながら解説します。

後半　未来の仙台を考えるワークショップ

グループに分かれ、ファシリテーターの進行のもと、目指すべき未来シナリオの実現に向けたアイデアについてターニングポイント毎に意見を出し合い、「2050年の仙台」の姿を一緒に描いていきます。

特別企画

当日は「2050年の仙台」を舞台にしたSFプロトタイピング小説をご紹介します。

未来を物語として体感しながら、目指すべき将来に向かうためのアクションをご一緒に想像してみませんか？

「SFプロトタイピングとは？」
SF（サイエンスフィクション）の物語を使って、将来の技術や社会の変化を具体的に描き出し、その可能性や課題を検討する手法です。